



発行日：平成 27 年 7 月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第 26 回川部会WGを開催しました！

6月29日（月曜日）に第26回川部会WGが豊田市職員会館にて開催されました。今回のWGでは、上郷排水機場の改修設計内容について愛知県豊田加茂農林水産事務所より説明いただき、家下川の魚の移動阻害及び棲みかの保全について意見交換を行いました。

日時：平成 27 年 6 月 29 日（月）10:00～12:30

会議場所：豊田市職員会館 2F 第1会議室

参加者：27名（事務局含む）



◆主な意見交換内容

1.本日の話し合いでわかったこと、決まったこと



■上郷柳川瀬排水機場の改修工事について

- 上郷柳川瀬排水機場の改修工事内容についてわかりやすく説明いただき、工事と併せてどういった対応が可能か検討することができました。
- 場内は一部掘削する予定であり、工事完成時の河床敷高は現状の河床高よりも低くなるため、排水機場周囲の水深は現状より深くなる予定です。
- 改修工事時の魚の退避方法や段差の解消方法等については豊田市河川課及び農地整備課、公園課も交えて対応を検討していく必要があります。



■山川海の流域連携について

- 土砂担当については、溝口先生に受けていただけないか打診します。
- 9月25～26日に東幡豆のトンボロ干潟で海部会、山部会合同の見学会が開催される予定です。ぜひ川部会の皆さんも参加ください。



■今後のスケジュールについて

- 次回WGの小笠ダム見学は、当初の7月18日（土）から日程が変更となります。日程は、7月29日（水）、8月5日（水）、8月6日（木）のいずれかを予定とし、MLにて調整します。
- 8月24（月）に予定している地先モデルでの訪問団体は、本守さんに候補団体を選定いただき、調整後にお知らせします。
- 8月以降のWGは、9月本川モデル、10月家下川モデルを予定しています。
- 9月本川モデルは、9月29日（火）13:30～15:30（予定）とし、総合土砂管理委員会の最新情報の紹介と意見交換を行います。
- 10月家下川モデルは、10月13日（火）10:00～12:00（予定）とし、管理関係団体と意見交換を行いながら、改修工事時の魚の退避方法や段差の解消方法について意見交換します。

2.意見交換



- 出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

(1) 上郷柳川瀬排水機場の改修工事について

(・意見 ▶回答)

上郷柳川瀬排水機場の改修工事について愛知県豊田加茂農林水産事務所より説明があり、その後、意見交換を行いました。

- ・今回の工事では、承水溝の深さを変えるなど承水溝と長池との段差に関係する部分は手を入れないということがわかった。(光岡)
 - 工事のなかで一度仮設盛土をした後に長池（ひょうたん池）からの樋門周辺の土はまた取り除く。取り除く際に、もし対応可能な良い提案があれば、お手伝いできると思っている。(鈴木)

- ・第1号樋門のゲートを何らかの方法で冬の間だけでも閉めて水位を嵩上げしておけば魚は越冬できるのではないか。(山本)
 - 以前一度実施したが、冬季の乾田化に支障が出るためこの方法はとれないということだった。(小澤)
- ・承水溝内の魚のおそらく9割以上が周辺より深い2つのポンプ機の吸水槽の中に入って冬を越していると思われる。こういった魚についてはどうお考えか。(阿部)
 - 初めて伺った内容なので、現状では具体的な案は無いが、壊す前に今稼働している大きい排水機場の吸水槽の中の魚を捕まえて、新しい吸水槽へ退避するしか方法はないのではないかと考える。(鈴木)
- ・工事の際に中の魚を人の手で全部救い出して緊急避難をどこかにさせることは可能か。(阿部)
 - 場所にもよるが不可能では無い。(鈴木)
- ・コンクリート工事現場よりも離れた場所に、魚の退避場所を仮に作れないか。(阿部)
 - 仮設盛土は作業中なので一番初めに作ってもらいたい。(阿部)
 - 吸水槽の魚をどうするか、その後、使っていない排水機場を壊す際にどうするか、2回あるということだ。最大限配慮してほしい。(小澤)
- ・退避場所をひょうたん池とするのはどうか。(穴井)
 - ひょうたん池と承水溝は繋がっていないため、魚の種類が違うので難しい。(小澤)
- ・例えば、承水溝内を浚渫して欲しい場合は、豊田市の河川課へ依頼する話になるのか。(本守)
 - おそらくそうだと考えられる。ただ、この工事の中でやれるのか、別途やるのか、魚に対して誰がどうするのか、最後は豊田市の責任になるのか、このあたりは話し合いだと思う。(小澤)
- ・矢板上流の承水溝内に穴を掘ることは可能か。(光岡)
 - さらに仮設が必要になり、条件が増えていくので難しい。(鈴木)
- ・長池と承水溝の間で20cm~40cm水位差があり、さらにそれを繋ぐ樋門敷高が高くなっている。今回の工事を機に何らかの対応ができないか。関連して段差解消につながる工事は可能か。(鷲見)
 - 水路部分については豊田市の管理区間となるため、難しいのではないかと。(本守)
- ・承水溝内の浚渫は設置側としては必要とは思ってられないか。(本守)
 - 仮設で入らなければいけない場所であれば同時に実施することもできるが、そのためだけにというのは難しい。(鈴木)
- ・ポンプ場の上流側の端には矢板が入るので、矢板の先の部分を工事の掘削深さまで擦り付けるよう掘り込みをつくってもらうことはできないか。何らかの方法で擦り付ける作業を実施できないだろうか。(鷲見)
 - 矢板は圧入機で自走して打っていくため、クレーンを入れる作業がない。この作業では掘ることができない。(鈴木)
 - ポンプ場の吸水口に対して現状の河床高はだいぶ高いので、この工事自体でも吸水口までは掘削が必要だとおもう。(事務局)
- ・このまま放っておくとどんどん生き物がいなくなってしまう。ポンプ場ができたから魚がいなくなったといわれるのも不本意だ。なんとか少しでも考えていただきたい。(阿部)
- ・新しい排水機場の横に一度盛り土をして撤去して現状の池に戻す計画となっているが、その際に多めに掘ることは可能か。(内田)
 - 一部掘削する予定なので、現況河床よりは深い水深が確保できる。(鈴木)
- ・魚の一時避難を含めて、豊田市の河川課と協議していただきたい。(内田)
- ・岸から届く範囲で魚の隠れ家を掘削するのは将来的に可能なのかを豊田市に考えてもらえれば良いと思う。(小澤)
 - 今回の工事でもバックホウで届く範囲であれば、掘ることは可能である。(鈴木)
 - 豊田市の河川課がないのは残念だ。今後は豊田市河川課、農地整備課、公園課ともお話しできるとありがたい。(内田)

今後の流域圏懇談会の予定



■第27回川部会 WG

日時：平成27年7月29日(水)、8月5日(水)、8月6日(木)のいずれか

内容：小渋ダムの視察

※詳細日時はMLにて決定します。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森、係長 桑、技官 宇野
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijnet.or.jp) までお送りください。

